



産官協議会(次世代ヘルスケア)第1回

ICTを活用した地域医療体制の方向性

2018年10月29日

医療法人社団鉄祐会
株式会社インテグリティ・ヘルスケア
武藤 真祐

要旨

- 2018年4月、ICTを活用した診療についてガイドラインや診療報酬制度は整えられたものの、医療現場では、具体的な活用イメージが描けないまま、「診療の質の低下」「IT投資等への負担増」などの不安が先行している
- 医療へのICT活用の期待は、対面診療を補完し、医療の質を向上し、治療効果を最大化していくことを目指すものであったものに関わらず、ビデオチャットでの診察によるアクセシビリティの向上のみに終始し、本来の価値の実現に向けた議論が行えていない
- 疾患構造が患者自身の生活習慣に起因し、治療効果を高めるうえでは患者自身の行動変容が必要とされる中で、患者固有の疾患・生活情報に基づいた最適医療の選択と実践を実現する手段としての意義を再認識する必要がある
- 活用モデルとして、疾患ごとの最適治療アプローチに基づき、患者個々の症状や状況をデータで把握し、適時介入することでアウトカムを高めていくことがあげられる
- 海外では、ICTを活用してデータ精度を高めることに加え、医師のみならず、看護師や薬剤師、介護者、患者自身が参画していくことを前提としたモデルを構築することで、アウトカムを高めていく取組が進められている
- 本来の価値を実現していくためにも、医療の質を高めていくことが期待される領域を特定し、効果の最大化に向けた規制緩和とインセンティブ設計をしていく必要がある

課題提起：オンライン診療の基本理念と現状との乖離

オンライン診療の基本理念

1. 医療の質の向上

患者の日常生活の情報も得ることにより、医療の質のさらなる向上に結び付けていくこと

2. 医療アクセシビリティ

医療を必要とする患者に対して、医療に対するアクセシビリティ(アクセスの容易性)を確保し、よりよい医療を得られる機会を増やすこと

3. 治療の効果の最大化

患者が治療に能動的に参画することにより、治療の効果を最大化することを目的として行われるべきものである。

厚生労働省 平成30年3月「オンライン診療の適切な実施に関する指針」より

注力すべき領域

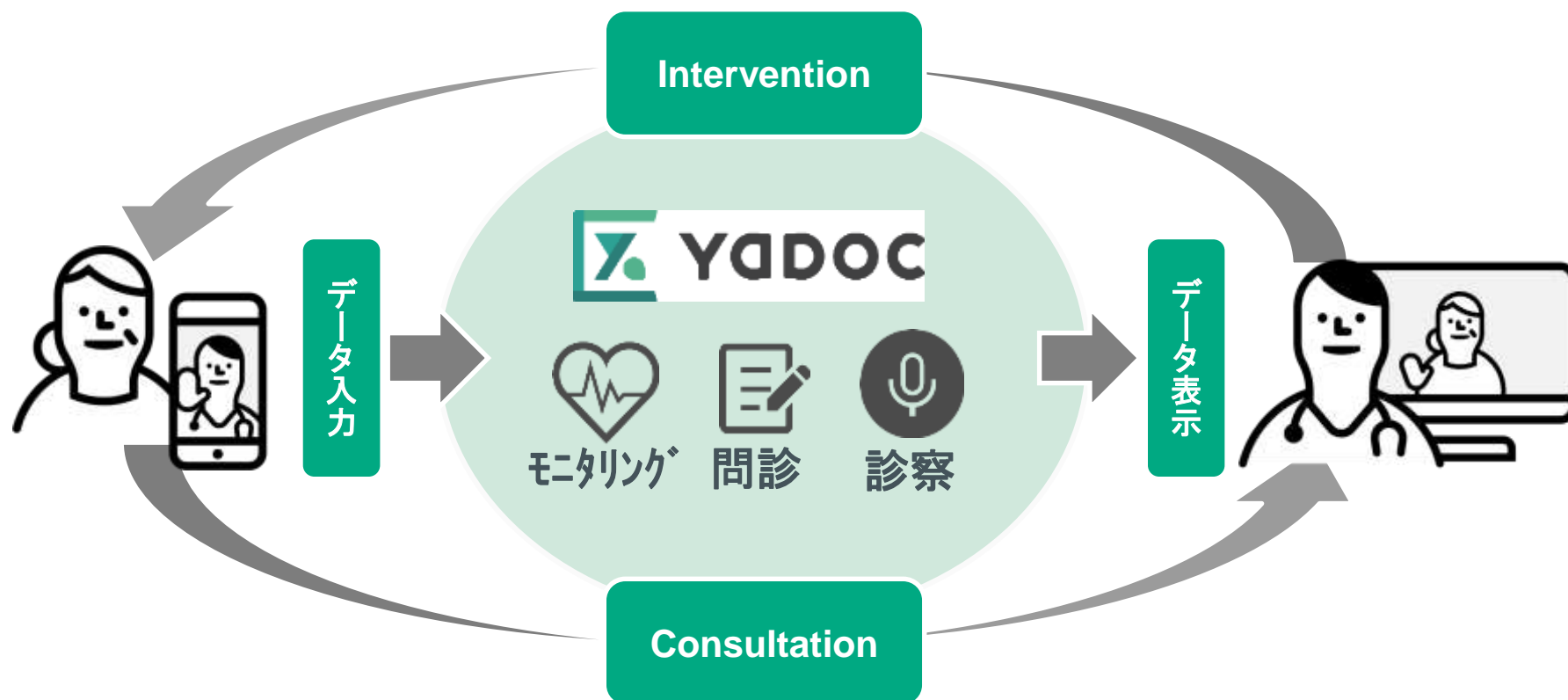
「オンライン診療＝ビデオチャットによる診察」として狭義に捉えるのではなく、本来の基本理念に即した議論があるべき

オンライン診療の方向性



患者個人の生活に根差した医療が求められる中で
対面診療を補完するオンライン診療の果たすべき役割は大きい

方向性①：ICT活用による「個別化」医療の実現へ



診断に必要な情報をアプリ上で集積し、医師に提供
患者ごとの症状を把握し、適切な介入を支援

方向性②：予防から治療まで個人の健康寿命へ貢献

オンライン医療

潜在リスク

スクリーニング

医療相談
(受診勧奨)

診断

治療

改善

予防

治療

オンライン医療相談



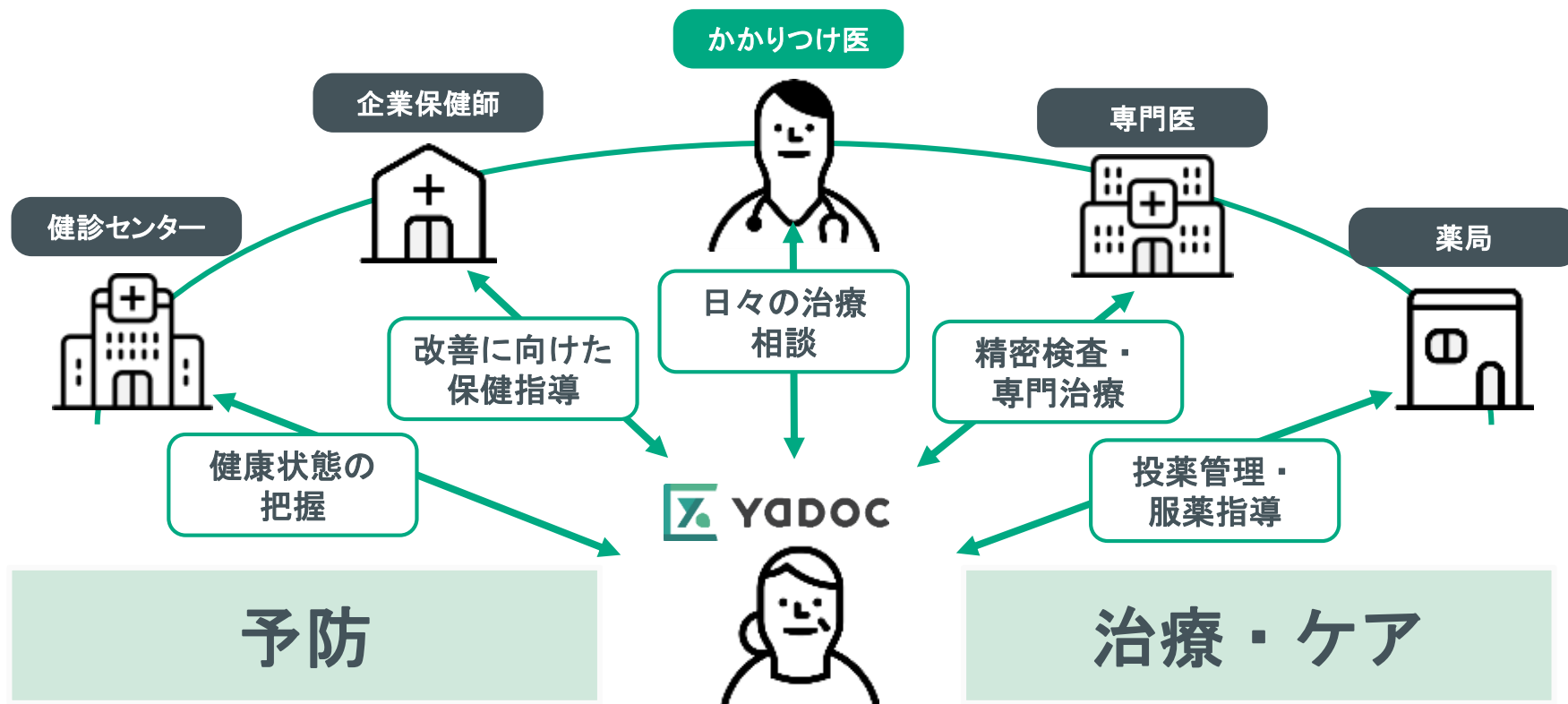
- ✓ 企業(産業医・保健師)での利用
- ✓ 健診やその他リスクチェックに基づく、有所見者への受診勧奨

オンライン診療



- ✓ 病院・クリニックでの利用
- ✓ 自宅での継続的な治療を支え、早期発見と対応による重症化を予防

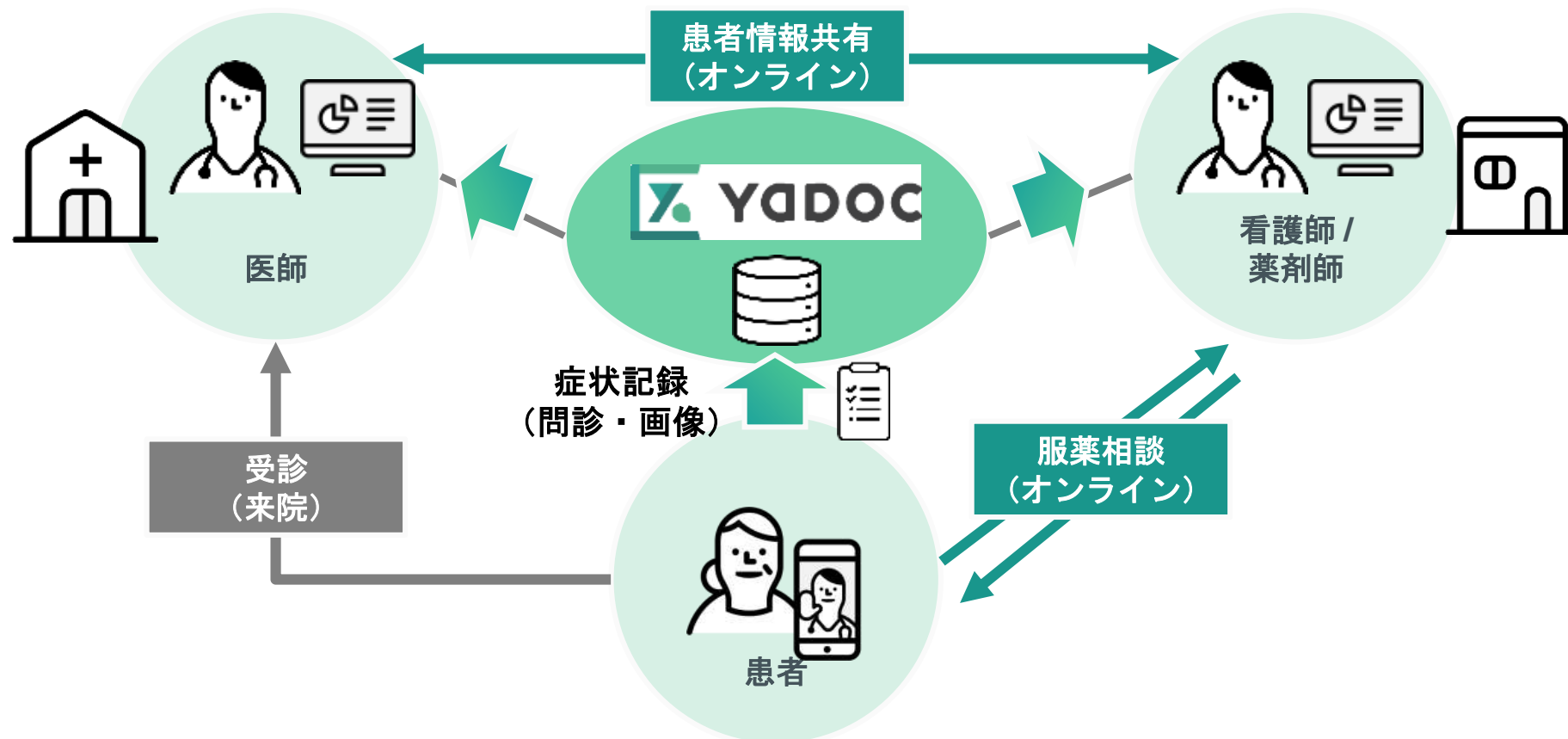
方向性③：患者データ共有によるチーム医療の推進



Medical Care in Your Life

医療データを患者起点で集約・共有化
個人の生活に立脚した患者中心医療を実現

今後の展望：看護師・薬剤師と連携した地域医療の実践



患者の症状をアプリでモニタリングし、
医療相談を行うことで、副作用を早期発見し、脱落を防止する

看護師・薬剤師との連携によるケアモデルの意義

医師

- 医師単独では、短時間の診察では説明が難しい、副作用やその対応を補完することができる
- 受診の間の患者の状態を視覚的にも把握でき、適切な判断が行える

患者の状態を把握した
適切な診断

患者

- 副作用について、自身の症状に照らして相談ができ、理解が深められる。
- 薬剤治療における不安が解消され、安心して治療に専念できる。

アプリを通じた相談による
治療への安心

薬剤師/看護師

- 患者から送信される画像や副作用に関する問診回答結果をもとに、総合的な判断が可能。
- 情報があらかじめ整理され、ビデオチャットで対応ができるため、業務への負担が少なくて済む

より専門的領域に特化した
患者へのケア

アプリにより副作用管理を標準化することで、現場の負担を軽減しながら患者さんが安心して治療を継続することが可能

あるべきオンライン診療の実現に向けて

ICTにより解決すべき
医療課題の定義

ICT活用により、アウトカム向上が期待される疾患領域の
選定と最適治療プロセスの定義

一気通貫のプロセス
実現に向けた規制緩和

診察から処方、調剤・服薬指導にかかる一連のプロセス
のオンラインでの実現
(電子処方箋・服薬指導にかかる規制緩和)

看護師・薬剤師の
参画

看護師や薬剤師との連携を前提とした医師との
役割分担の定義

デバイス活用にかかる
産業促進

ウェアラブルデバイスなど、患者情報を取得・蓄積する
デバイスの医療への活用推進 (医療機器認定の緩和)

 *Integrity Healthcare*

